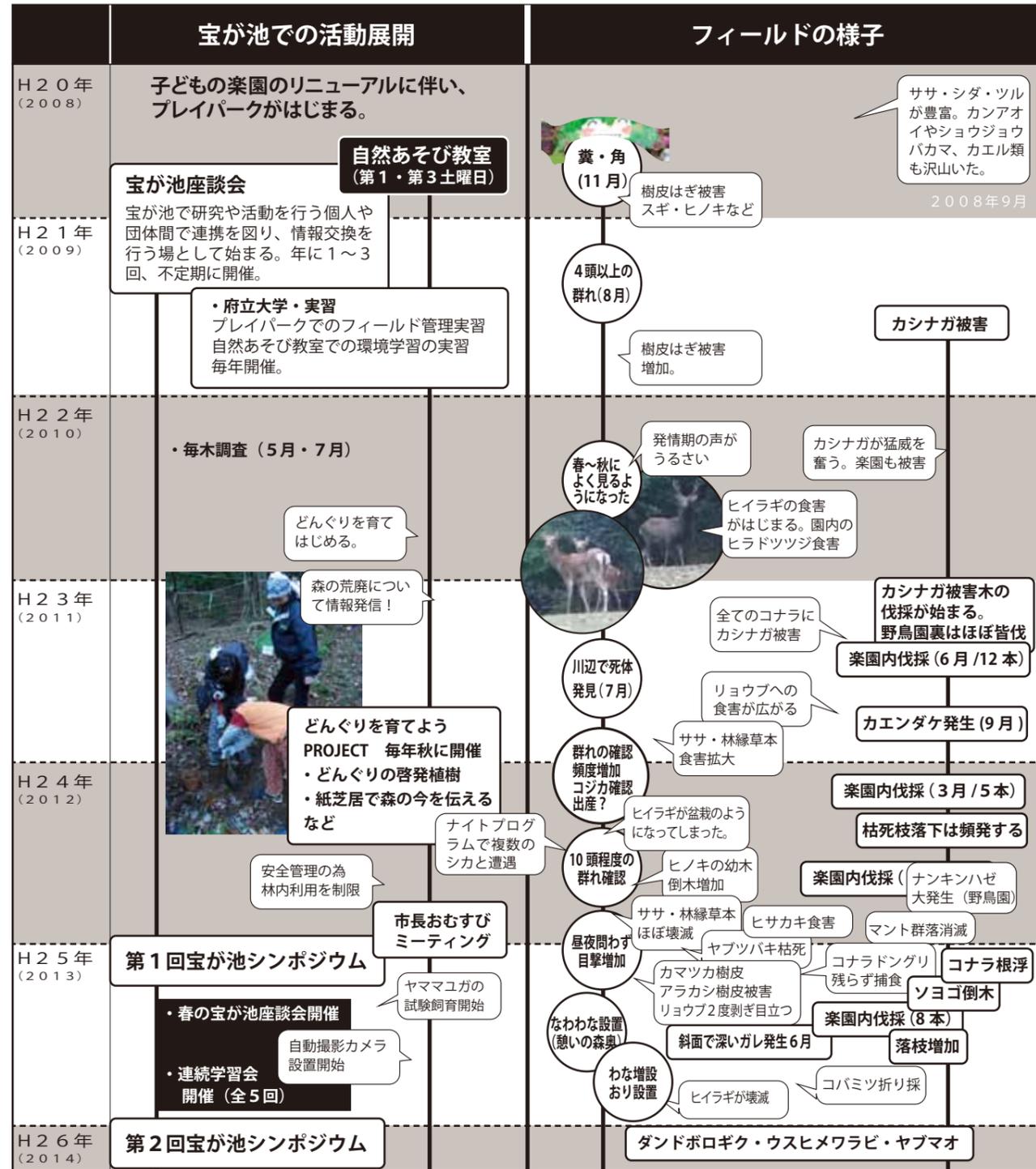


宝が池子どもの楽園・プレイパーク  
これまでの活動の展開と森の変化

2008年4月に行われた、宝が池公園子どもの楽園リニューアルから、「自分の責任で、自由にあそぶ場」としてプレイパークが開催されてきました。また、「自然の中のルールをあそびながら学ぶ・先人の知恵を受け継ぐ」環境学習、自然あそび教室を開催しています。ここ数年の著しい森の変化に伴って、宝が池での活動内容やプログラムの内容も大きく変化しました。現在、様々な自然環境の諸問題を、宝が池で活動する人みんなで共有し、考え、行動することを目指して、宝が池座談会・シンポジウム・連続学習会などを開催しています。



第2回 宝が池シンポジウム

ツツジ咲き誇る  
宝が池の森を未来へ

考えようみんなの  
もり



2014年  
1/12 (日)  
13:00~17:00

会場 京都府立大学  
大学会館2階多目的ホール  
主催：(公財)京都市都市緑化協会 / 京都府立大学森林科学科

京都三山の一角をなし、歴史的にも景観的にも、そして、人々の暮らしにとっても大切な役割を担ってきた宝が池の森。それが今、シカ被害やナラ枯れの拡大で森林環境は激変し、さまざまな植物が減って多様性を失いつつあるという問題は深刻さを増しています。そして、ツツジ類への被害も一気に拡大し、宝が池の森を特徴づけてきた風景が失われようとしています。『ツツジ咲き誇る美しい風景を未来につないでいく』をテーマに身近な森と関わる暮らし、野生動物との関係について、参加者全員で考え、行動へとつないでいきましょう。

